公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふぁみりあ真伝		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 5 月 13 日		～ 令和 7 年 5 月 31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和 7 年 5 月 13 日		～ 令和 7 年 5 月 31 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 6 月 6 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	将来を見据えた支援や情報の提供	<p>同法人、同じ棟に就労支援継続B型が隣接していることをいかし、密な連携や少し先の将来を見据えた支援プログラムの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労に向けた軽作業や生活動作の練習 ・実習先としての紹介や交流会の実施 	<p>本人の希望や思いに沿ったより具体的な支援の提供やその機会を大切にしたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会議の機会を増やす ・面談や相談を通しての意思確認
2	安定、安心感のあるスケジュール	<p>利用者の気持ちに寄り添った、安心の出来るスケジュールの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急な予定変更が起きないように、職員間での密な事前の共有(朝礼や終礼) ・変更点がある場合は、始まりの会でホワイトボードに記載や掲示(視覚支援)をしたり、活動切り替わりの場面では早めの声かけを行っている 	<p>予定や活動の目的の理解をより深められるよう、事前の説明や意思確認を大切に声を掛けていきたい。保護者へのイベント、スケジュールの告知等より細かく行って行きたい</p>
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の保護者に周知・説明や訓練の機会が少ない	避難訓練や引渡し訓練の計画、実施はあるものの、頻度は少なくまた周知に至っていない	<p>訓練実施の際は保護者へも可能な限り参加を呼びかけ、緊急時の流れや説明の機会を増やしていきたい</p> <p>参加が難しいご家庭には避難訓練の様子等通信の配布やHUGシステムでのお知らせ等活用したい</p>
2	地域に開かれた事業所運営	<p>現行外出の機会は少なく、地域との関りのあるイベントや行事に関しては不確定での実施となっている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域のイベントへの参加 ・事業所での具体的なイベントや行事の設定を検討
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ふぁみりあ真伝
------	---------

公表日 令和 7 年 7 月 日

利用児童数 令和 7 年 5 月 日

回収数 17

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17				体を動かす活動が行えるくらい、しっかり確保頂いていると思います		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	2		2		各種法令に沿った職員配置を遵守して支援を提供しております。職員の急な欠席や災害等必要な職員配置を満たす事が難しい際は、利用児の受け入れが難しい事を出来る限り迅速に、ご連絡いたします	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17				棚に写真が貼っていたり、床がフラットだったり、対応できていると思います		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17						
適切 な支 援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16			1	・できることが増えていたり、本人の苦手に気づけたりしたので、十分していただいていると思います ・日頃からよく理解していただけて、ニガテな部分を伸ばそうと支援を考えて頂いているのでありがとうございます	放デイガイドライン及び本人様の個別支援計画に沿った支援の実施を行っています。HUGシステムでの記録や懇談会等で改めてお伝えできればと思います	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15			2		HPにて公表しております。掲載している支援の他、本児に合わせた、個別の支援も大切に支援を提供しております	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17					しっかりヒアリングを実施いただいで反映されています	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16				1		個別支援計画書に記載しています。より具体的な達成目標の設定も考えていきたいです
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14				3	とても工夫されていると思います	主にSSTや就労に向けた活動、集団遊び、生活動作等支援プログラムから＜個別＞＜集団＞での活動に分類し提示しています。やり慣れた活動に継続して取り組めることと共に、活動の発展や子どもの気づきを促せるよう声を掛けています
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	2	4	3	8			現行利用児、保護者様からの希望等見られませんが、必要に応じて機会を設けていきたいと考えています
保 護 者 へ の	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	1					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	1					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	2	1	2		保護者交流会や、説明会、パパママ会の実施を行い保護者間での交流やペアレントトレーニングの機会も大切にしています	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	16				1		体調や様子についてはLINEや送迎時に口頭で伝えていきます。懇談会等では本人様の近況や将来も踏まえ、一緒に考えていきたいと考えています
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17						
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17						

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	7	6	4	今のままで充分です	保護者交流会や、説明会、ババママ会の実施を行い保護者間での交流やペアレントトレーニングの機会も大切にしています。きょうだいの支援に関しては、改めて検討、情報提供もできればと考えています
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	1	1		必要に応じて懇談会を実施しています。個別支援計画にもその旨を記載し、周知もその都度行っています
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	2	1		活動概要や行事予定等LINEの他HUGシステムでも通知を増やしていければと思います
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1	4		事業所にマニュアルの作成、委員会や研修の実施を行っています。また、契約時に説明をさせていただいております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13		4	本人にもく訓練」という認識があり、しっかり行われていると思います	避難訓練等の実施、12月には引渡し訓練を実施予定です
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15		2		送迎車の設備点検、置き去り防止ブザーの設置や食物アレルギーへの聞き取りの他くながら>支援をしない等職員への安全に関する研修も実施しています
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15		2		軽度の場合は送迎時に口頭でお伝えしていたり、LINEや電話にて必要に応じて伝達に努めています
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	1	1	・とても楽しみにしています ・「楽しい」「行きたい」と思える場所へ通所できていることが本当にありがたいです	利用者様の気持ちに寄り添いながらも、将来を踏まえた最善の利益を考え、支援を提供していければと考えています
	29	事業所の支援に満足していますか。	17			大満足です。細かな所にも配慮いただき、本当に感謝しています	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ふぁみりあ真伝		令和 7 年 7 月 日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3	開けたスペース（指導訓練室）は軽運動と学習スペースに分かれています。危険が予測される個所にはテープを貼って、視覚的な注意を促しています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		感染症への対策として常に空気清浄機を稼働しています。スケジュールの中に清掃時間を設け、環境整備に努めています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2	ついたてのある机を設置、アイロン等の使用場所を設定しています	クールダウン用の小部屋、仕切りのある空間等検討中です
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		個別支援計画作成に伴う会議の他、定例会議朝礼、終礼等利用児の様子について共有しています	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		評価表を基に会議の実施と、御意見について可能な限り改善に努めています	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		口頭での共有のみならず、情報に漏れや齟齬が見られないよう、日々の中で気づいたことを連絡帳に残したり、共有事項の記録を作成し、記載した事について改めて定例会議で共有しています	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	内部監査を実施し、見直しや改善に努めています	必要に応じて、利用を検討します
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5		常勤はくじョブメドレーアカデミーの研修を受け専門性の向上を図っています。また、感染症や虐待、身体拘束等必要な研修も受講しています	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		作成し、HPにて公開しています	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		保護者の希望や、必要に応じて懇談会を実施しています。個別支援計画書に沿った支援の提示と実施を行っています	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		サービス担当者会議を実施し、共有検討しています	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		サービス担当者会議を実施し、共有検討しています	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	ニーズの高いく就労に向けて身につけたい事><生活動作>等身につけたい姿勢や動作の評価はチェックシートを用いて把握に努めています。その他、個別の特性や事業所での様子を記載する欄を設け、実態を正確に評価することにつなげています	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	個別支援計画書に記載しています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員の公休や欠席から支援が滞らないようにしたり、支援が固定されたものにならないようチームでの支援計画の立案には各担当チームを設け相談、実施の連携を図っています	

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		職員の公休や欠席から支援が滞らないようにしたり、支援が固定されたものにならないようチームでの支援計画の立案には各担当チームを設け相談、実施の連携を図っています	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		年、月、日の支援計画を作成し、〈個別〉〈集団〉のプログラムをチームで考え実施しています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝礼、終礼の実施をもって、日々の留意点やスケジュールや支援の実施について共有しています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		朝礼、終礼の実施をもって、日々の留意点やスケジュールや支援の実施について共有しています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		HUGシステムを導入し、日々の様子について記録、保護者への公開も行っています。気になる様子については、ケース記録の作成も行っています	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		個別支援計画更新に合わせて行っています	個別支援計画は6か月更新を基本としていますが、必要に応じて、モニタリングの実施及び計画の更新も行っていきたいです
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		小集団での活動やレクの際に子ども同士が話し合ったり、リーダーを決める等選択や意思決定の機会を大切にしています	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			開所1年目になり前例がないですが、児発管が参加を予定しています
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			現行前例がありませんが、三河病院（協力医療機関）主催のイベントや研修に参加予定しています
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		電話、LINE等で共有、トラブル時の対応を行っています。利用者の緊急連絡先等車内に備えています	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	4		現行該当する利用者は見られませんが、必要に応じて対応予定です
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	同法人、同じ棟に就労移行支援B型が隣接していることを踏まえ、B型への就労希望等に関しては、より密接な連携が取れていると思います	現行該当する利用者は見られませんが、必要に応じて対応予定です
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		市役所からの研修通知その他研修案内においては、事業所でも共有し必要に応じて参加予定です
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		現行希望等見られませんが、必要に応じて機会を設けていきたいと考えています
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5		児発管が参加を予定しています
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			送迎時に事業所での様子、体調変化等伝達事項があればお伝えしています。相談や確認等はLINEや電話等記録が取れる環境で承る事に留意し、情報伝達に漏れが無いように心がけています
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			保護者交流会や、説明会の実施を行い保護者間での交流やペアレント・トレーニングの機会も大切にしています
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			契約時に説明をしています。また、個別支援計画更新時のモニタリングの中で変更点や留意点あればその都度お伝えしています	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			懇談会へ保護者のみならず、本人の参加も推奨し意思決定や自己選択の機会を設けています	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5				
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			必要に応じて懇談会を実施しています。個別支援計画にもその旨を記載し、周知もその都度行っています	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	保護者交流会や、説明会の実施を行い保護者間での交流やペアレントトレーニングの機会も大切にしています	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			現行、該当例がありませんが管理者が窓口となり、対応します。職員への情報伝達、対策について話し合う予定です
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		HPを活用し、支援プログラムより支援やイベントの周知に役立てています。HUGシステムでは日々の子どもの様子についても伝達しています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		契約時に丁寧に説明しています。取扱いについても重要事項に定め、記載しています	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		ホワイトボードに顔写真入りの名札を貼る、写真を使って整理整頓のガイドにする等、視覚支援に配慮しています	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		過去に地域のイベント（真伝祭り）の会場としたことがあります。今後も積極的に実施できればと考えています
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		委員会の設置や実施、また訓練日等も年間計画の中に反映し、取り組んでいます	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		年に5回程訓練を予定しています。そのうち2回は振り返りの訓練を設定し、改善に努めています	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		安全計画を作成し、該当児の対応について記載しマニュアル化、職員への共有に努めています	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	3		現行指示書に基づいた対応は出来ていません。保護者からの聞き取りは実施し、おやつ等への配慮は行っています
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			その都度、口頭での説明になっています。より詳しい安全計画の周知の機会等作ってまいります
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		事例があった際は、定例会議や朝礼終礼にて共有、防止に努めています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	常勤はくじョブメドレーアカデミーの研修を受け専門性の向上を図っています。また、感染症や虐待、身体拘束等必要な研修も受講しています	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	常勤はくじョブメドレーアカデミーの研修を受け専門性の向上を図っています。契約時に説明し、該当ケースがあった際は記録に取るように書類の整備を行っています		